

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	子宮体がんリンパ節転移予測診断マーカーを用いた術中迅速検査技術の開発
	研究目的	子宮体がんの手術では、がんのある子宮と周辺のリンパ節などがん細胞が転移している可能性のある範囲を切除しますが、リンパ節切除はリンパ浮腫を引き起こすことがあり、その後の生活に悪影響を与えることがあります。もし、リンパ節転移の有無を手術前に見分けることができれば、負担の少ない治療が可能となります。 これまでに、リンパ節転移のあるがんとないがんで遺伝子発現を比較し、高い精度でリンパ節転移の有無を見分けられる2つのマーカー遺伝子を発見しました。本研究では、これらの2つのマーカー遺伝子を早く正確に測ることができるリンパ節転移診断法を開発し、「女性にやさしい個別化医療」の実現を目指します。
	研究対象者	当センター婦人科で包括同意により子宮体がん組織を提供頂いた方
	研究期間	西暦 2018 年 11 月 9 日 ~ 西暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(凍結組織) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について	当センター 研究責任者	大津敬
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等 共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	婦人科 【研究代表機関および研究代表者】 順天堂大学医学部産婦人科 前任准教授 寺尾泰久 【共同研究機関および研究責任者】 国立研究開発法人理化学研究所 プログラムディレクター 林崎良英